



令和7年2月26日
統合幕僚監部

(お知らせ)

中国軍機の動向について

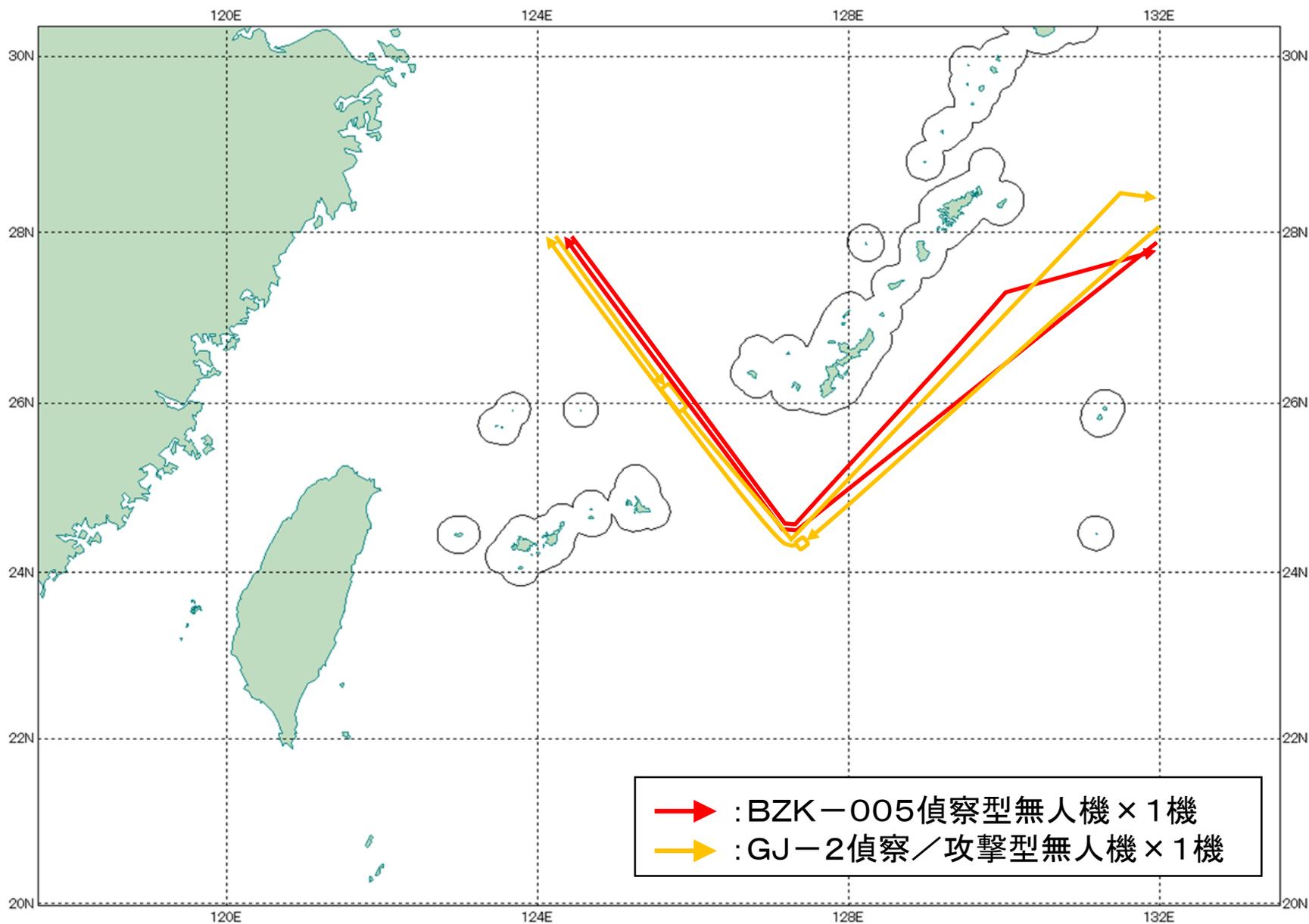
令和7年2月26日(水)午前から午後にかけて、中国軍のBZK-005偵察型無人機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、沖縄本島の南の太平洋上を奄美大島沖まで飛行した後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過し、東シナ海に至ったことを確認した。

また、同日午前から午後にかけて、中国軍のGJ-2偵察/攻撃型無人機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、沖縄本島の南の太平洋上を奄美大島沖まで飛行した後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過し、東シナ海に至ったことを確認した。

これらに対し、航空自衛隊の南西航空方面隊等の戦闘機を緊急発進させ対応した。

対領空侵犯措置において、GJ-2偵察/攻撃型無人機を確認したのは今回が初めてである。

行動概要



対象機（BZK-005偵察型無人機）



航空自衛隊撮影

対象機（GJ-2偵察／攻撃型無人機）



航空自衛隊撮影